



**シグマ調査－2013年上半期損害額概算：
世界の保険業界が災害により被った保険損害額は200億米ドル**

Contact:

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Lucia Bevere, Zurich
Telephone +41 43 285 9279

Thomas Holzheu, Armonk
Telephone +1 914 828 6502

Clarence Wong, Hong Kong
Telephone +852 2582 5644

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999
www.swissre.com

- 2013年上半期の災害による経済的損害額は560億米ドル
- 自然災害による保険損害額は170億米ドル、主な要因は洪水
- 自然災害および人災による犠牲者数はおよそ7,000人

チューリッヒ、2013年8月21日－スイス・リー・グループ(以下、スイス・リー)のシグマ調査の概算によると、2013年上半期の自然災害および人災による経済的損害額は560億米ドルとなりました。損害総額のうち200億米ドルは世界の保険業界により補償されましたが、そのうち170億米ドルは自然災害、主に広範囲にわたる洪水によるものでした。2013年上半期の災害による犠牲者数は7,000人に上っています。

2013年上半期に社会が被った全体の経済的損害は560億米ドルとなり、2012年同期の670億米ドルを下回りました。保険損害額は200億米ドルで、そのうち170億米ドルは自然災害に起因するものでした。保険損害額もまた、2012年上半期の210億米ドルを下回り、過去10年間の平均以下となっています。その他、人災により30億米ドルの保険損害が発生しましたが、これは2012年上半期と同じくらいです。

2013年上半期、自然災害の主な要因は洪水

2013年上半期の自然災害に関連する損害の主要因は洪水であり、洪水による世界全体の保険損害額は80億米ドルになると推定されています。この結果、2013年は現時点ですでに洪水による保険損害額がシグマ調査開始以来2番目に高い年となりました。2011年に発生したタイの洪水は、単独で160億米ドル以上という記録的な損害をもたらしました。

6月には、中東欧で豪雨による大洪水が発生し、経済的損害は180億米ドル、犠牲者数は22人となりました。保険損害額は40億米ドルと推定されており、河川の洪水としてはシグマ調査開始以来2番目に高額な保険損害額となります。2013年のヨーロッパにおける洪水保険損害額はすでに、2002年の20億米ドル(2013年の物価水準で30億米ドル)を上回りました。

カナダのアルバータ州もまた6月に降雨による洪水に見舞われ、保険損害額は、同国の史上最高額である20億米ドルとなりました。

1月には、サイクロン「オズワルド」によって再びオーストラリアで洪水が発生し、10億米ドルの保険損害をもたらしました。さらにインド、南ア



フリカ、インドネシア、アルゼンチンでも同様に豪雨が発生し、広範囲にわたる洪水となり、多くの人命が失われました。インドでは、6月に発生した洪水により1,150人の死者が出ており、今も多くの人が行方不明のままです。この洪水は単独で、2013年上半期で最も多くの犠牲者を出した災害となりました。

洪水リスクの責任者であるジェンス・メルホーンは次のように述べています。「洪水は今後も、世界全地域で大きな損害を与え続けることでしょう。この災害の脅威に、誰一人として無縁ではられません。残念ながら、保険の存在なしでは、このような災害による損害は甚大となります。私たちは将来の洪水を止めることはできませんが、予防策を講じることで、異常気象による全体的な影響を軽減する事ができるのです。」

竜巻および雷雨によるさらなる損害

米国中西部では、春の激しく不安定な天候により、複数の竜巻が発生しました。5月に発生した竜巻による犠牲者は28人、保険損害額は18億米ドルとなりました。犠牲者および財物損害は、改良藤田スケールで最大階級5の竜巻が発生した、オクラホマ州のムーアに集中しています。

その他の自然災害および人災による2013年上半期の世界の保険損害額は、70億米ドルでした。

スイス・リーのチーフ・エコノミストであるクルト・カールは次のように述べています。「2013年の損害額は今のところ平均を下回っていますが、現在進行中の北大西洋のハリケーン・シーズンや、ヨーロッパの冬の嵐などその他の災害の深刻度によっては、保険損害額は今後大幅に増加する可能性は残っています。」



2013年の自然災害による高額保険損害額上位

		保険 損害額 ¹ (十億米ドル)	経済的損害 額 (十億米ド ル)	事象	国	
1	6月	4.1	18	洪水	ドイツ、チェコ他	[2]
2	6月	2.0	4.0	洪水	カナダ	[2]
3	5月	1.8	3.1	激しい雷雨、竜巻	米国	[3]
4	3月	1.6	2.0	雷雨、竜巻、雹	米国	[3]
5	4月	1.1	1.6	吹雪、氷雨、竜巻、大雨	米国	[3]
6	1月	1.0	2.0	洪水	オーストラリア	[4]

¹ 財物および事業中断(生命および賠償責任損害を除く)

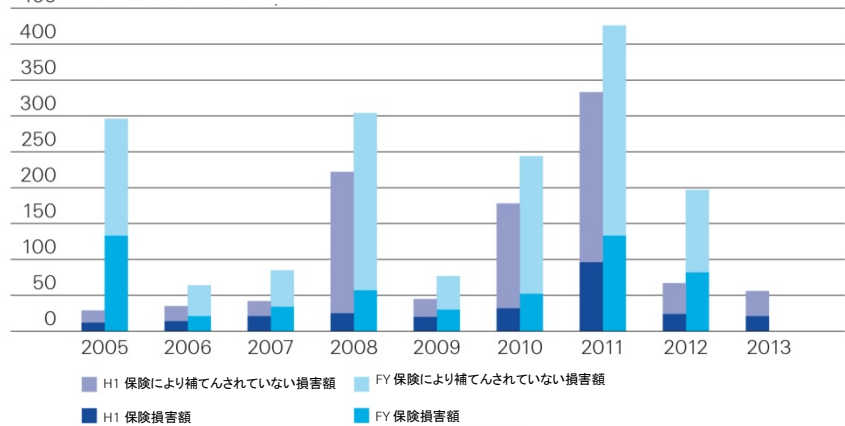
[2] スイス・リーによる概算

[3] プロパティ・クレーム・サービスズ(PCS)認可取得済み

[4] オーストラリア保険協会

災害関連損害額

450 10億米ドル(2013年の物価水準)



注記: 保険損害額 + 保険により補てんされていない損害額 = 経済的損害額
 出典: スイス・リー、シグマ災害データベース



シグマ災害統計における定義と選択基準:	
自然災害	自然の力により引き起こされた損害事象
人災	人間の活動に関連した損害事象
自然災害による保険損害額	損害保険により補てんされた自然災害による損害
経済的損害総額	損害保険により補てんされていない災害関連の損害を含む損害額
最低選択基準:	
損害総額	9,620 万米ドル
または: 損害保険請求額	船舶: 1,940 万米ドル 航空: 3,870 万米ドル その他: 4,810 万米ドル
または: 被災者数	死亡または行方不明者: 20 名 負傷者: 50 名 家を失った人: 2,000 名

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接またはブローカーを通じて、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界 60 カ所以上で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「A1」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所に上場しており、ティックャーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループについての詳細は、ウェブサイト (www.swissre.com) をご覧いただくか、または Twitter ([@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe)) でフォローしていただきますようお願いいたします。